令和４年度宮古地区労働衛生大会が開催されました

会場の様子

指差し呼称の様子

令和４年度の宮古地区労働衛生大会（主催：沖縄県労働基準協会宮古支部など４団体）が令和４年９月２７日に JA おきなわ宮古地区本部大ホールで開催されました。

同大会は，労働者の健康管理や職場環境の改善などの自主的な労働衛生活動により，労働者の健康を確保することを目的とした全国労働衛生週間（１０月１日から１０月７日）の準備期間中に開催されたもので，43 事業場の企業の代表者や衛生担当者等約７０人が参加しました。

大会では最初に，職業性疾病で亡くなった労働者の冥福を祈り，１分間の黙とうをささげました。

主催者代表挨拶では，労働基準協会宮古支部の上里明通支部長が行い、宮古労働基準監督署長津田太郎挨拶の実施後、宮古労働基準監督署より、労働衛生週間の実施事項、石綿則改正、化学物質関連法改正の説明後、本大会の特別講演では，沖縄産業保健総合支援センターの西里えり奈メンタルヘルス対策促進員から「職場のメンタルヘルス対策」をテーマに講演が行われ，参加者は熱心に聞き入っていました。

大会終盤では，「あなたの健康があってこそ　笑顔があふれる健康職場」とする大会宣言を採択し，参加者全員で「指差呼称」を行い，今後のさらなる労働衛生活動実施の決意を新たにしました。

第７回ビーチクリーンアップを開催

参加者で記念撮影

令和４年度の労働衛生週間の初日に職場の健康づくりのために「ビーチクリーンアップ」（主催：沖縄県労働基準協会宮古支部など４団体）が令和４年 10 月１日にパイナガマビーチにて３年ぶりに開催されました。

このビーチクリーンアップは，労働衛生週間の PR イベントとして行われており，今回で第７回目の開催となりました。

当日は関係団体の会員企業とそのご家族約 130 人が参加し，早朝の涼しい風を感じながら、砂浜に捨てられたゴミや，台風の影響で散乱した木の枝や落ち葉などを拾い集めました。

およそ１時間のビーチクリーンで，２ｔトラック２台分の荷台のゴミが集められました。